

ワークショップに参加していただいた方に、ワークショップの最後にアンケートをお願いしました。47名の方に回答をいただいた結果や主な意見は、以下のとおりです。今回いただいた意見は、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

Q1. これまで他のワークショップへの参加回数

■■72%が今回初めての参加■■

参加者の約72%が、これまで他のワークショップへの参加回数が「0回」と回答しています。

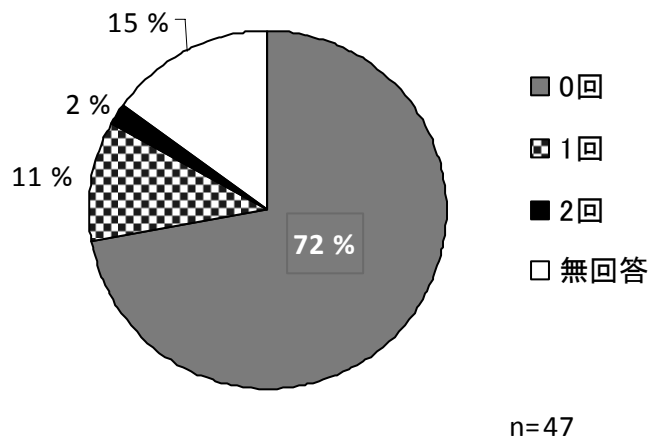


図 3-1 これまで他のワークショップへの参加回数

Q2. 自治基本条例が制定され、市民参画が進んでいると思うか

■■市民参画が進んでいると思うかについては、意見がわかる■■

参加者の約 40%が、市民参画が進んでいると思う（「はい」）と回答した一方、約 38%が、市民参画が進んでいるとは思わない（「いいえ」）と回答し、意見がわかれています。

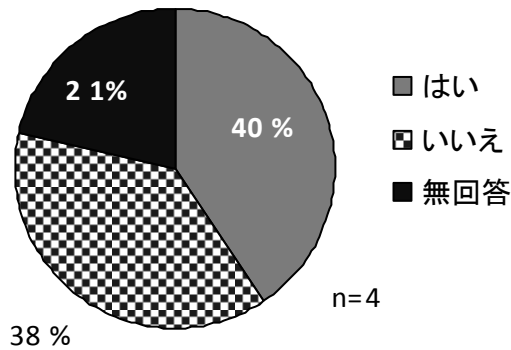


図 3-2 自治基本条例が制定され、市民参画が進んでいると思うか

【回答した主な理由】

【市民参画が進んでいると思う】

- ・市民の声が反映されていると思う。(男性/10代)
- ・ワークショップもそうですが、この機会にホームページを見たところ、市民の意見を受け入れるページやイベントが色々と開かれていた。(女性/30代)
- ・以前、住んでいたところでは、選挙等で参画することがあっても、多摩市のように少人数ではありますが、実際に意見等を述べる場がなかったため。(男性/30代)
- ・市民に対して市政への参加が考えられている。(女性/60代)
- ・自分が参加できたから。(男性/70代)

【市民参画が進んでいるとは思わない】

- ・今回の市民ワークショップ（第5次）はランダムで選んだことはよいことと思うが、他はまだ市民参画ではないように感じました。(男性/10代)
- ・やはり市民一人一人が自覚的になる必要があると痛感した。(男性/10代)
- ・そもそも自治基本条例を聞いたのは今回が初めて。今後も継続的にこのような機会を設けていただきたい。(男性/20代)
- ・このワークショップに参加するまで、今の多摩市のことを何も知らなかった。25年も住んでいるのに。(女性/30代)
- ・自治基本条例の認知度が低く、市民参画も一部の人たちに限られていると思う。(男性/40代)
- ・行政と市民のタイアップがもっと必要。(男性/50代)
- ・最低年1回は地域で、市長以下の参加のもとに「市政を語る会」を開いてほしい。(男性/70代)

Q3. ワークショップ等は市民参画の手法として有効だと思うか

■ワークショップは有効と評価■

参加者の96%が、市民参画の手法としてワークショップ等は有効だと思うと回答しました。

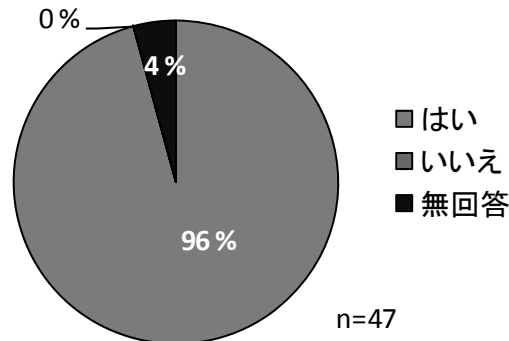


図 3-3 ワークショップ等は市民参画の手法として有効だと思うか

【他にも有効な手法はあるかについて主な意見】

- ・このような活動が行われていることを知る、知らないでは大きな違いだと思うので、たくさん通知したらよいと思いました。(男性/10代)
- ・もう少し10代、20代の若者層を厚く募った方がよいと思う。世代間のギャップがあるため。(男性/10代)
- ・小学校の活動などで、子供の時から市の参加をどんどんする。(女性/20代)
- ・ネットを使った手軽なアンケート。(女性/20代)
- ・こういう場が、もっと増えるといいと思います。他にも、目安箱や広報にアンケート用紙などを一緒に配ることとか有効だと思います。(女性/20代)
- ・知らせる手段は他にも考えられると思う。政治家のポスターのように、嫌でも目に入る状況をつくる。テーマ、期間を決めて広く伝えること等。(女性/30代)
- ・茶話会(サロン)のような場でもっと気軽な話し合い。(リラックスしている方が、いろんな意見が出しやすいのでは?) (女性/40代)
- ・市政について広く知らしめるために、市の職員の方が外へ出て市民参画を呼びかける「出前」のような活動はどうでしょうか? (女性/50代)
- ・「時間を短くし、ただやっている」ではダメだと思う。やらないよりは良いが!! (女性/50代)
- ・他の地区(市町村)との交流。(男性/50代)
- ・コミュニティセンター等を有効活用し、本件や行政の方策、運用を具体的に説明して、意見を聞き対応を進める。(男性/50代)
- ・二度の選出方法は良いと思います。(女性/60代)
- ・地域別、年齢別など様々な方法で、市民の要求を市が聞く会を設定してほしい。今回のものは時間が短すぎる。(男性/70代)
- ・各自治会、管理組合等、個別ミーティングもよし。(男性/70代)

Q4. ワークショップ等に参加して良かったと思うか

■ ■ 大多数が参加してよかったと回答 ■ ■

98%の人がワークショップに参加して良かったと思うと回答し、思わなかったとの回答は 0%でした。

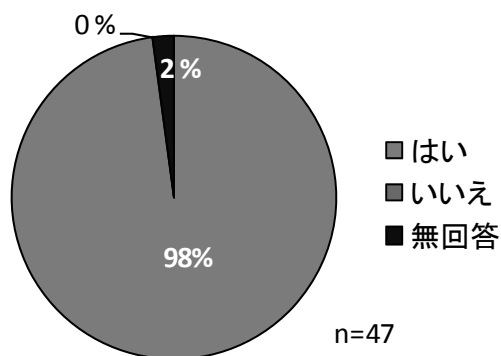


図 3-4 ワークショップ等に参加して良かったと思うか

【主な意見】

- ・今すぐにみんなで考えた“結果”が現れなくても“考える機会”を持てたことがよかったと思うから。(女性/10代)
- ・まだ若く知識や経験が少ないため、自分の力を付けられたと同時に、私は政治に若者が関わっていくべきだと思っているため、より興味をもつことができた。政治に興味がなくなっている若者にはこのようなものが必要なことだと考えます。(男性/10代)
- ・多摩市について考え、興味を持つきっかけになると思うし、自分の意見を言う、伝えることによって、ご先輩の方々が生き生きしていると感じました。実際に暮らしている人の意見はリアルであり、貴重なものだと思うので、これからも実施していただきたいと思います。(女性/20代)
- ・色々な年代の人と交流が持ててよかった。意見も立場が違くと色々異なり聞いて良かった。拘束時間が長かった。(女性/20代)
- ・とっても良い勉強になった。市政に参加したいと思うようになった。(男性/20代)
- ・多摩市の見えなかった部分、知らなかった部分を知ることができた。(男性/30代)
- ・普段の生活では体験できない場であったため。(男性/30代)
- ・市民主体の市政に参加していると実感できました。(女性/40代)
- ・色々な年代の方々に接し、意見を聞けました。多摩市のことを改めて考え、良いところ悪いところを考えさせられました。(女性/50代)
- ・テーマが多すぎて深く議論できない。(男性/60代)
- ・本当に見る事聞く事始めてで、これから自分に何が協力できるか毎日努力したい。ボランティアで働きたい。(男性/60代)
- ・多くの人の意見を聞いた。自分も参加しなければという思いをもてた。(男性/70代)

Q5. ワークショップ等に参加した理由

■■多摩市の市政について関心が高く市民参加の意向強い■■

市民として多摩市のこれからについて高い関心があり、市民として市政に参画していくべきとの意見が多く見られます。

【主な意見】

（多摩市についてもっと知りたかったから）

- ・自分のまちについてどのようなことを議論するのか興味をもったから。（女性/10代）
- ・18年間多摩市に住んでいますが、多摩市について知らない所が多いので、勉強できればいいなと思ったからです。（女性/10代）
- ・ある程度、開発が完了した多摩市が、これからどうしていくのか、というのが気になったため。（男性/20代）
- ・市長も変わり、自分の住むまちがどう変わっていくのか興味があったから。（女性/50代）
- ・30年前に移り住んで、これからの多摩市を考えてみたいと思った。（男性/50代）
- ・30年以上多摩市に住んでいます。最近の（これからの）動向を知りたいと思い参加しました。（女性/60代）
- ・今、多摩市で何を必要としているのか知りたいと思い参加しました。（女性/70代）

（市政への参画に関心があった）

- ・10代の私にとって勉強になることは間違いないから。また政治に市民は関わるべきという気持ちがあったからという理由もあります。（男性/10代）
- ・政治でも何でも、国民の意見を取り入れるということが大切だと日頃思っていました。だからワークショップという場は大変貴重だと思います。これからも市民の声を発する場をつくってほしいと思います。（女性/20代）
- ・もともと、興味はあるが、参加の方法が分からなかった。選挙以外での政治参加はできないと思う人が多いと思う。もっと同様の機会をつくってもらいたい。（男性/20代）
- ・社会勉強として。また多摩市にもっと良くなってほしいと思ったから。（男性/20代）
- ・子どもが居るので参加を迷いましたが、私がいないと乳幼児を育てるママの参加がゼロになり声が届かないのではと思ったので参加しました。（女性/30代）
- ・行政の方、市民の方の意見、考えが自分の考えと、比べられる場であり、当然興味があったため。（男性/30代）
- ・市民として市政に携われると思った。（男性/40代）
- ・行政に全て任せるつもりでなくて。（男性/50代）
- ・市政について真剣に向き合うことがなかったので、この機会に考えたいと思った。（女性/60代）
- ・地域に関わる仕事をやってみたかった。（男性/60代）
- ・市民として市政に参加してみたいと思った。（男性/60代）
- ・一番体験したかった。（男性/70代）
- ・市政のあり方に不満があったから。（男性/70代）

(その他)

- ・仕事と家の往復で市の活動に参加したことがないので、良い勉強になった。(女性/20代)
- ・川崎市役所に勤めている友人がいて、自分の知らないところで働いてくれる人達のことを色々聞いていたので、自分の住んでいるまちを知ろうと思ったこと。(女性/30代)
- ・子どもが生まれてから社会のことに興味を持ち、少しでも市民の意見を言うことができればと思い参加しました。(女性/30代)
- ・開催日が土・日だったので参加した。(女性/40代)
- ・まったく興味がなかったわけではないのですが、なかなか自分から進んで、という気持ちはなかったです。機会をいただいたことに感謝します。(女性/40代)
- ・専業主婦で社会と関わる機会も少なく、このような機会は貴重だと思い参加しました。(女性/50代)
- ・子育ては多摩市にて守られながらできました。何かお返しができたらと思っておりました。(女性/60代)
- ・同年代や近所の人との付き合いなので視野が広がった。(女性/60代)
- ・会社人間から地域との関わりをもつ人間への準備。(男性/60代)
- ・今までは学識経験者、市議会議員がやるものだと単純に思っていた。(男性/60代)
- ・参加する機会を与えていただいたので・・・。(女性/70代)
- ・最初に通知を受けたときはどうするか考えました。しかし、市民の義務として、また、権利として参加すべきだと考えた。(男性/70代)

Q6. 開催中、自身の考えを話すことができたか

■■自分の考えを話すことができた参加者が約9割■■

ワークショップ中に自分の考えを話すことができた参加者は87%となっています。

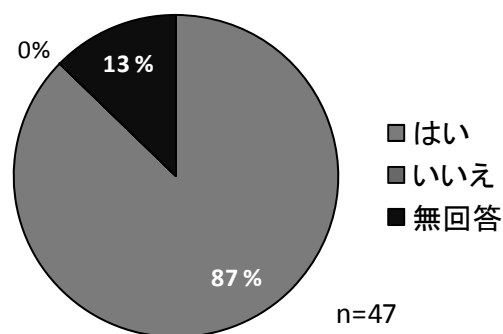


図 3-5 開催中、自身の考えを話すことができたか

07. ワークショップ等の運営について改善すべき点

■■時間配分に見合うテーマ構成の検討が必要■■

テーマが広範な割に時間が短いという指摘が多く出されています。

【主な意見】

（余裕のある時間配分、テーマ構成に）

- ・1日目の市長や市役所職員の話を短縮し、ディベートを増やす。(女性/10代)
- ・人数当たりの議題の数が少々多いのと、班の人数がやや多いため、議論をするには時間が不足しがちかと感じました。(男性/20代)
- ・議題の量の配分に差がある。発表時間が短い。話し合いの時間が足りない。拘束時間が長く疲れる。(女性/20代)
- ・開催期間が短すぎる。もっと回数を重ねて、じっくり話し合った方が良いのでは。資料の提供ももっと早く、内容ももっと濃く!!もっとしっかりとしたアンケートを!!市民のホンネを掘り下げる必要がある。議論する内容のボリュームもバラツキすぎ。(女性/40代)
- ・思ったことをうまくお話しできずにとまどいました。時間が短かったけど、その中で意見をまとめることが大切だったのかなと思います。(女性/50代)
- ・時間が足りないのと、テーマをしぼった方が良い。(男性/50代)
- ・時間的に急がされて結論に至る感があったので、テーマをしぼって、もう少し深く掘り下げて行った方が良いのではないかと思う。(女性/60代)
- ・テーマが大きすぎる件もありました。テーマが大きいときは、他市の例もあるとスムーズかと思えます。(女性/60代)
- ・初日の討議時間が短く、結果を急ぎすぎだと思う。(男性/70代)

（情報提供を充実させる）

- ・自治条例について、自分は全く知識がなかった。今回、最も必要な情報であり、今後、同様の機会を持つのであれば、事前に紹介すべき。(男性/20代)
- ・事前に考える時間をもっとほしかった。(資料をもう少し早く送っていただけると良かった)(女性/30代)
- ・市民のアンケートの結果などの資料をワークショップの前にいただきたい。(女性/70代)

（より踏み込んだ市民参加）

- ・市に対して意見をまとめるようなもの。政策以外にも市民の考えをまとめられる機会があればよいかと。(男性/10代)
- ・たたき台の作成への市民の参加。たたき台によって方向性が決められている。(男性/30代)
- ・テーマをしぼって深く議論できる場もつくってほしい。(男性/60代)

(その他ワークショップ運営方法について)

- ・若い人がもっと参加できるようになってほしい。知識経験の浅い人が参加することで、それが勉強となり、街の未来を担う若い人が多摩市で生きていく上で活かせると思う。(女性/10代)
- ・市の職員の方がグループに入っていることはいいと思います。できたら市長や市議会議員の方にも短時間でもいいので加わっていただけたらいいと思いました。(女性/20代)
- ・緊張するので、もっとフレンドリーになるとありがたい。(女性/20代)
- ・2つのグループを1つの部屋で使用はやめてほしい。(他のグループの声が気になったため)(女性/20代)
- ・少し形式的すぎる。(男性/20代)
- ・まず、ワークショップのルールを伝えるべきだと思う。進行役はプロでも良いと思う。話し合いが成り立たない。一言も発言しない人がいた。寒すぎます。(女性/30代)

Q8. 今後、参加したい、あるいは関心のある市民参画の形態

■■ワークショップへの参加意向が多数■■

関心がある市民参加の形態として、「ワークショップ」との回答がもっとも多く（複数回答で22件）、次いで「審議会・懇談会」、「アンケート」（ともに14件）となっています。

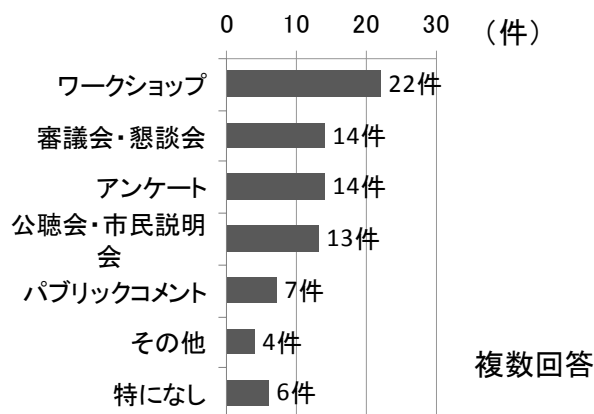


図 3-6 今後、参加したい、あるいは関心のある市民参画の形態

Q9. 自治基本条例について

■より広い周知を求める意見が多数■

有意義な内容であることの意味が多いと同時に、認知度が低いことから、より積極的な周知をする必要性を多くの回答者が指摘しています。

【主な意見】

（もっと周知が必要）

- ・知りませんでした。そのため様々なことが市民に投げ出し状態になっている。そのような状況では市民の積極的参加は望めないと思います。なにごとにも情報の提供をより広く行う必要がある。金銭だけでなく、人間関係的な関わりがなければ、市民協働関係は築けないと思うので、自治基本条例を知らせるべきだと思いました。(男性/10代)
- ・私が、多摩市在住期間が短いせいもあり、基本理念を理解できていない。市政参加のためにどうすれば良いかも分からない。興味のない人を参加させるのは難しいが、関心をもつ人は多いはず。今日のようなワークショップは素晴らしいが、より簡易にアンケートや広報活動をしてもらいたい。(男性/20代)
- ・どこまで行政にまかせるのか？ 市民自治でできることがあるはずなので、可能性を提示してほしい。(女性/30代)
- ・もっと市民に周知してください。(男性/40代 ほか多数)
- ・よく理解ができていない。市民に積極的にPRしてほしい。(女性/60代)
- ・市が作りました、というだけで市民には知らせていなかった。(男性/70代)

（自治基本条例のもとワークショップ実施は有意義）

- ・自分たちが自分たちの住むまちをつくっていくという素晴らしい思想をもっと広めてほしい。(女性/20代)
- ・今後もこのような取り組みを継続、強化していただければと思います。(男性/20代)
- ・今回のワークショップに参加することでわかることがたくさんあり、勉強、学ぶことができた。(女性/40代)
- ・「市民がまちづくりに主体的に参加し」とありますが、この機会に自分の周囲に目を向けていこうと思います。(女性/50代)

（その他）

- ・理想と現実のギャップが大きいですね。(女性/40代)
- ・市民の主体的な取組は大切だし、これを支援する行政の役割も重要ですが、行政の方向性や、特に市長等執行者の具体的な方向はビジョンが大切と思われます。この点が欠如しているのでは？どんなまちにするのかが語られず、まちづくりの手法を語っているのは残念です。(男性/60代)
- ・今回、参加し出てきたことを活かしてほしい。10年後、20年後にいるかいなかわかりませんが、次の世代によりよい多摩市を残したく思います。(女性/70代)